



日本コミュニケーション障害学会
言語発達障害研究分科会
10周年記念セミナー

米国ワイオミング大学 Petersen 先生を招いて

ナラティブを用いた
幼児・学童の言語評価と指導

日本コミュニケーション障害学会 言語発達障害研究分科会では、言語発達障害児の国内外の文献研究、事例検討、新たな評価法や指導法の開発などを行い、セミナーや学会のワークショップを通して情報を発信してきました。このたび、活動 10 周年を記念して米国ワイオミング大学の Douglas B. Petersen 准教授を迎え、セミナーを開催します。

Petersen 先生は、文化的言語的に様々な背景を持つ子どもたちの学習の躓きの支援を目的に、臨床や研究を行っています。近年、読みやナラティブのダイナミックアセスメントを用いた評価法(PEARL)を開発し、読みや言語の問題の早期発見に取り組んでいます。

そこで今回の第 11 回セミナーでは、Petersen 先生の研究や臨床のお話に加え、本分科会で取り組んできたナラティブを用いた評価と指導の方法や効果について具体的に報告をします。是非、この機会にご参加ください。一緒に子どもたちの言語の問題を考え、各々の知識や技能を深める場としましょう。

日時:2017 年 2 月 5 日(日) 10 時～15 時 30

場所:東京医科大学病院 新教育研究棟3階大教室(地図参照)

参加費(当日払い):会員 3,000 円 非会員 5,000 円 学生 1,000 円

Time Table

午前の部:	10:00～10:05	ご挨拶(代表:田中裕美子)
	10:05～11:40	Petersen 先生の講演
	11:40～11:50	質疑応答
午後の部:	13:15～14:05	ナラティブを用いた評価例
	14:15～15:05	ナラティブを用いた指導例
	15:05～15:30	質疑応答など

分科会メンバー:

田中裕美子・青木さつき・入山満恵子・瀬川幸子・遠藤俊介・松浦(亀山)千春・金屋麻衣・野波尚子



お申込み〆切：1月28日（土）（定員になり次第〆切）

お申し込みは e-mail でお願いいたします。お名前、ご所属、連絡先、コミュニケーション障害学会の会員番号がある方は番号をご記入の上、genko.hattatsu.bunkakai@gmail.com（担当：松浦（亀山）千春）までお送り下さい。なお、お申し込みをされた方には確認のため後日 e-mail にて返信いたします。一週間以内に返信のない場合や、ご不明な点などありましたら<090-9100-5881>（松浦）までご連絡ください。

<会場アクセス>

- 徒歩 新宿駅西口より約10分
- タクシー 新宿駅西口より約5分
- 地下鉄 新宿駅より東京メトロ丸の内線「西新宿駅」下車2番出口またはE5番出口よりすぐ
新宿駅より都営大江戸線「都庁前駅」下車A7番出口より徒歩7分

<会場地図>

- 東京都新宿区西新宿 6-7-1
東京医科大学病院
新教育研究棟 3階大教室

